

バッタ自然度[河原]

+ 集計結果

+ 草はらの「自然度」

◆ カワラバッタ自然度[河原]

◆ ショウリョウバッタモドキ ツルマバッタ

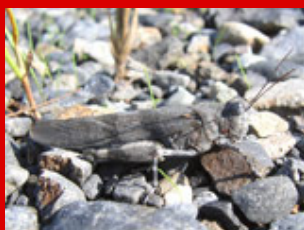
◆ ショウリョウバッタ クルマバッタモドキ

◆ オンダ自然度[1]

◆ 見つからなかった対象外 対象外のバッタ

+ バッタを呼び戻すには

カワラバッタがいた場所



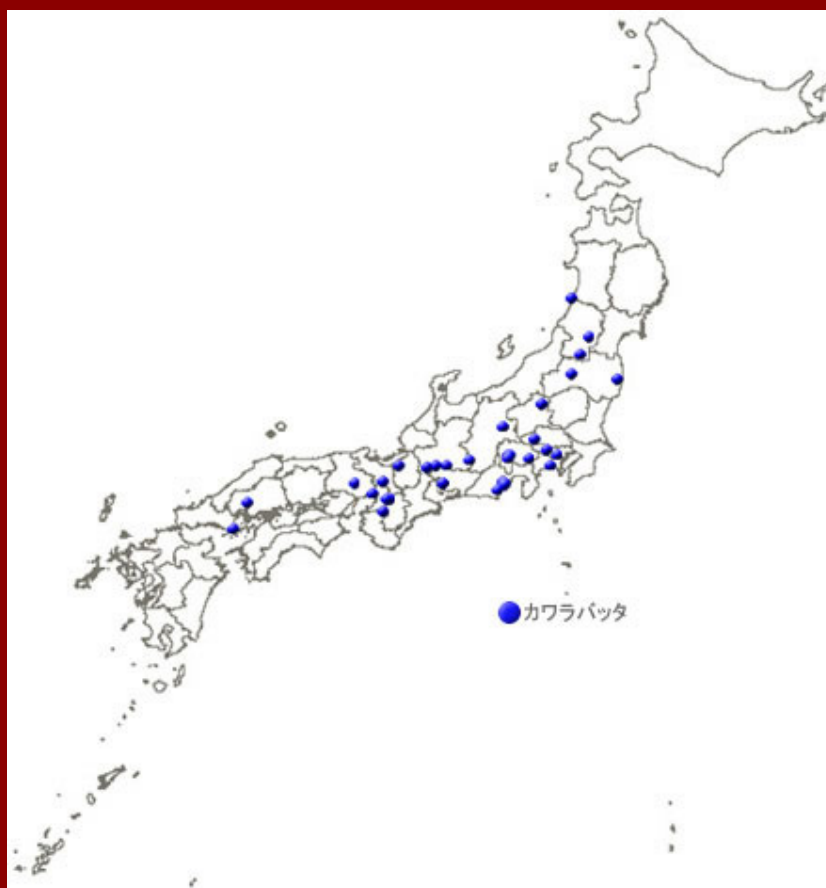
カワラバッタ

学名: *Eusphingonotus japonicus*

- 分布 本州～九州
- 日本だけにいる。
- 石ころの河原が好き。

写真: 齋藤正巳さん(静岡県)

* バッタ自然度マップ・バッタ自然度[河原] (カワラバッタ)



✿ 参加者の皆さんの感想

- 大雨の後の増水で、石ころの河原に近づけず、カワラバッタを探せなかったのが残念です。他の日にはカワラバッタを確認しています。(栃木県)
- 若令～終令の幼虫がかなり多かったです。今回調べた場所で2004年にはカワラバッター個体いましたが今年は河原の石ころが草で覆われたためか観察できませんでした。(東京都)
- 丸石河原が植生に覆われてくるとカワラバッタは姿を消す。ときどき出水があることで川の生物多様性が維持されている。(東京都)
- カワラバッタは1キロ歩いて一匹のみ 千川上水端では、植物が単純で(イネ科)ある。畑も少なくなり土道がない。土があっても腐葉土がなくバッタの育成条件が悪い。どこでも舗装すれば良いというのは?である(東京都)
- いろんな種類のバッタがいました。カワラバッタ(?)の子供はコオロギだと思っていました。ショウリョウバッタを重ねてもオンブバッタにならないですね。(兵庫県)



[▲ページの先頭へ](#)

[自然しらべ2006／バッタ・Top Page](#) > [集計結果](#) >